

# “ダントツ製品”を生み出す新製品開発での設計の極意とは？ 先行開発段階で必要な設計力を学ぶ

本セミナーで  
習得できること

- ・ダントツ目標に必要な要件とその具体的な設定方法が理解できます。
- ・ダントツ目標実現の先行開発段階の詳細プロセスを知ることができます。
- ・先行開発段階に必要な「設計力」とその技術知見・判断基準など7つの構成要素を把握し、実践で活かすことができます。
- ・ダントツ目標実現のさまざまな実践事例を知ることができます。

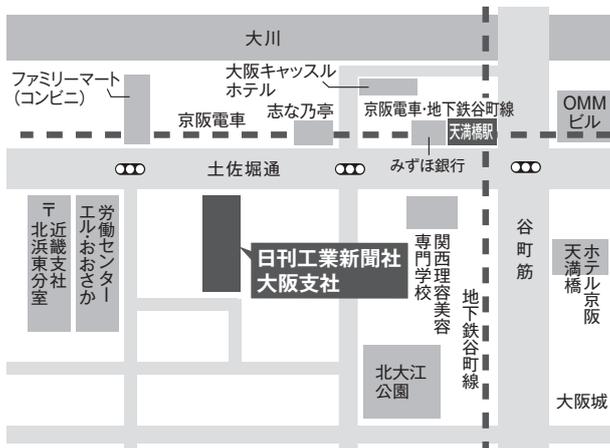
**日時** 2020年9月15日(火) 10:00~17:00 (9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

**会場** 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場 大阪市中央区北浜東 2-16

**受講料** 44,000円 (資料含む、消費税込) \*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円  
※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。  
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)

\*本セミナーをご受講の方は、9月16日(水)開催の「テクノロジーロードマップ」セミナーを27,500円で受講いただけます。

**大阪会場** (日刊工業新聞社 大阪支社10階)  
大阪市中央区北浜東2-16 TEL:06(6946)3382



- \*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分
  - 新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口
  - 大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口
- ※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

## セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

## 受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。  
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

## お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

## 受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。  
振込手数料は貴社でご負担願います。

## キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

**申込・問合せ** 日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

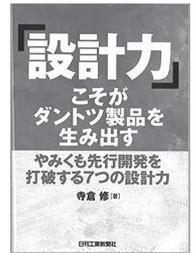
<b>受講申込書</b>	<b>9/15 先行開発</b>		お申し込みは <input type="text" value="日刊工業 セミナー"/>	<input type="text" value="Q"/>
			<a href="https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search">https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search</a>	
会社名	フリガナ		業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL	
所在地	〒		FAX	
備考			E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>				

# 開催主旨

企業が新製品を開発するにあたっては当然ながら「いかに競合との違いを出し、顧客に選ばれるか」が最大のミッションとなります。高い収益性を誇る高付加価値商品として選ばれるために必要な要素は、かつては機能性の優劣が大きな割合を占めていました。ところが市場が成熟した現在では、競合を凌駕する性能、コスト、高信頼性など、他を圧倒する優位性をはじめから意識した新製品を生み出せなければ、競合に勝てない時代になりつつあります。こうした時代に求められる製品開発において、設計が果たすべき役割とは何でしょうか？

量産段階に至るまでの設計プロセスやデザインレビューについては、これまで多くの方法論が提唱されてきましたが、先行開発段階において必要な設計力については、あまり語られることがありませんでした。この先行開発段階の方法論について解説された『「設計力」こそがダントツ製品を生み出すーやみくも先行開発を打破する7つの設計力ー』が上梓されたのを機に、著者でもある講師に事例を交えながら方法論を解説してもらい、ナンバーワン商品を生み出すヒントを得てもらうべく、本セミナーを企画しました。世界を相手にナンバーワンを取りに行こうという野心にあふれた技術者の参加をお待ちしております。

※本セミナーを受講される方には、講師著書『「設計力」こそがダントツ製品を生み出すーやみくも先行開発を打破する7つの設計力ー』を受講当日に無料で進呈いたします。



## 講師

(株)ワールドテック 代表取締役 **寺倉 修氏**

**【略歴】** 1978年 (株)日本電装(現(株)デンソー)入社、車載用センサーおよびアクチュエーターの開発や設計業務に従事。日本初のオートワイパー用レインセンサーを開発し、トヨタの高級車「レクサス」への搭載を実現した。ほか、20種類以上のセンサー、アクチュエーターを開発・設計し車載を達成。  
05年 (株)ワールドテックを設立、製造業への開発設計生産などの技術を支援  
中部産業連盟講師  
10年 東京大学大学院経済学研究科MMRCコンソーシアムで「モノづくりを支えるもう一つの力『設計力』」のテーマで講演  
10年 (財)企業活力研究会 「平成22年度ものづくり競争力研究会」委員  
14年 東京大学大学院経済学研究科MMRCで「『設計力』を支えるデザインレビュー」のテーマで講演  
18年 経済産業省「ものづくり白書」に「設計段階での品質管理の重要性」を提言し掲載された。  
著書に「『設計力』こそが品質を決めるーデンソー品質を支えるもう一つの力」、「『設計力』を支えるデザインレビューの実際ー品質不具合はこうやってなくせ!」、最新刊に「『設計力』こそがダントツ製品を生み出す」(ともに日刊工業新聞社刊)

## プログラム

### 1. 「世界No.1 製品」とは

世界No.1 製品の定義、及び先行開発段階と量産設計段階でそれぞれ設計力が存在することを解説

- (1) 世界No.1 製品とは
  - ーQ・C・Dの一つ以上がダントツであること
- (2) 先行開発と量産設計段階の関係
  - ー先行開発段階は、ダントツ目標値の設定と実現、量産設計段階は、ダントツ目標値品質120%達成の取り組み
  - ーそれぞれの段階の取り組みは、Wモデルで表現できる
- (3) 先行開発段階の活動
  - ーこの段階ではさまざまなツールが使われる

### 2. ダントツ目標達成の取り組みの流れ

ダントツ目標の設定とその実現方法について具体例を踏まえて解説

- (1) 新製品開発をスタートする環境をつくる
- (2) 新製品の選定のための基本方針を決める
  - ー既存製品の課題の分析を踏まえ、新製品選定の基本スタンスを明確にする
- (3) 新製品を具体的に選定する
  - ー取り組むシステム分野の絞り込みと製品の選定
- (4) 選定した製品を世界No.1にする方針を決める
  - ーQ・C・Dの何をダントツにするか根拠をしっかりと踏まえる
- (5) システムから要求される真のニーズを把握する
  - ー真のニーズとは、またその掘り起こし方とは
- (6) 真のニーズから得られたダントツ性能を実現する
  - ーネック技術の見極めとそれを乗り越えるには
- (7) ダントツコストを見極め、実現する
  - ースピードを意識した取り組みとは

### 3. ダントツ目標の達成プロセス・満たすべき要件・阻害要因の打破

ダントツ目標達成のプロセスフロー、目標値の妥当性を判断する4要件、及び目標値達成を阻害する要因を乗り越える取り組みについて解説

- (1) ダントツ目標達成プロセス
  - ー達成プロセスは3つのグループからなる、主活動プロセス、サポートプロセス、マネジメントプロセス
- (2) ダントツ目標が満たすべき4要件
  - ①第一要件：目標項目の妥当性

- ②第二要件：目標値の対象システムでの妥当性
  - ③第三要件：システム動向との整合性
  - ④第四要件：成長タイミングとの整合性
- (3) ダントツ目標値の達成のための阻害要因の打破
  - ー阻害要因とは、及びそれを打破する具体的な取り組み

### 4. 先行開発段階の7つの設計力

量産設計段階の設計力とは異なる、先行開発段階の7つの設計力を解説

- (1) 先行開発段階の7つの設計力要素
- (2) 先行開発段階の7つの設計力を構成するもの
  - ー量産設計段階とは異なる設計力が必要
  - 量産設計段階の設計力と比較で検討
- (3) 設計力から導かれるプロセスフローのアウトプットとは

### 5. ダントツ目標設定の取り組み実践事例

ー競合先を引き離す特性項目の絞り込みと目標値の設定、この活動をシステムからコンポーネントまでカスケードした取り組みを紹介  
市場動向調査/システム重点特性選定/システム特性値設定/コンポーネント選定/コンポーネント特性設定

### 6. 様々なダントツ製品を目指した取り組み事例

- (1) ダントツ目標の取り組みは身近にある
  - ーダントツコスト1/2達成例
- (2) 世界一製品開発
  - ー他社の追従を許さない独自技術の開発と、顧客の真のニーズを達成した例
- (3) ダントツのスピード開発
  - ーダントツのスピードでお客様に満足頂いた例
- (4) システムの変化点はダントツ新製品開発の機会

### 7. ダントツ目標設定に必要なロードマップ

ダントツ目標が満たすべき要件の見極めにはロードマップの活用が大切

ーロードマップとは/ダントツ性能事例に当てはめると/ダントツコストの見極めもロードマップから

### 8. 世界No.1 製品を達成する設計者のありよう

- (1) 世界No.1を目指す設計者のありよう
- (2) 世界一製品を目指した経験者の言葉

### 9. 目標は高く掲げ、原理原則に則り着実に実行する